

プレス リリース

超薄型バウマー誘導センサーが今年のセンサー製品オブザイヤーに

(2024/03/22) センサーのエキスパートである Baumer 社は、誘導センサーを含め、可能性の限界に挑戦し続けています。常に目標としているのは、お客様に付加価値を提供し、新しいアプリケーションの可能性を切り開くことです。現在の例の 1 つは、信頼性の高い物体検出と最大限の設計自由度を兼ね備えた、非常に薄い IF250 です。これらの利点は、業界誌 Computer&Automation (WEKA Business Medien) の読者も納得しています。読者は、Baumer ツールボックスへのこの強力な新製品を 2024 年のセンサー製品に選出しました。



新しい IF250 が特別なのはなぜでしょうか？ この誘導センサーは、非常にフラットな設計の高さと非常に長いスイッチング距離を兼ね備えています。わずか 6 mm の薄さにもかかわらず、IF250 は最大 12 mm 離れた物体を検出できます。このパフォーマンスはこのパッケージ クラスでは他に類を見ないもので、スペース不足のために標準的な円筒形センサーを簡単に統合できないような新しいアプリケーションへの道を開きます。

小さな設置深さに最適なセンサーソリューション

Baumer 社は、設置深さが制限要因となる省スペース向けに、スイッチング距離が非常に長い IF250 を提供しています。新しい IF250 は、円筒形の超小型センサー(直径 3 mm) から最大スイッチング距離 24 mm の M30 設計まで、コンパクトな設計の高性能誘導センサーの Baumer 社ポートフォリオを理想的に補完します。

長距離検知センサーのもう 1 つの利点は、安全マージンが拡大することです。フラット誘導センサーは、対象物からより安全な距離に設置できるため、重要なアプリケーションでも最適に保護されます。

コンパクトな設計により、IF250 は新規設置に最適であるだけでなく、当初センサーの設置が予定されていなかった既存のプラントへの後付けにも最適です。壊れやすいプラスチック製のスリーブの代わりに金属製のスリーブを使用し、パイプへの取り付けが簡単な取り付けキットにより、安全で堅牢なセンサー取り付けが保証されます。

IF250 シリーズは、業界標準の PNP または NPN 出力を備えた近接スイッチとして、またはデジタル IO-Link インターフェースを備えた測定バリエーションとして利用できます。

このプレス リリースは Baumer 社の発行するプレス リリースをハヤシレピック (株) に翻訳しています。文章は Baumer 社の意図を正確に表現するよう、忠実に翻訳しております。